

平成 30 年度(2018 年度)第 1 回三者懇談会（吹田市立西山田保育園）

- 1 開催日時 平成 30 年 6 月 30 日(土) 午後 7 時 5 分～午後 8 時 40 分
- 2 開催場所 西山田保育園 遊戯室
- 3 出席者 西山田保育園保護者会長、その他保護者 42 名
社会福祉法人耕心会（耕心会理事長、吹田くすのきこども園事務長、吹田くすのきこども園主事）
吹田市児童部保育幼稚園室職員（保育幼稚園室長、児童部総括参事、保育幼稚園室参事、保育幼稚園室主幹、西山田保育園長、西山田保育園長代理、西山田保育園保育士、西山田保育園看護師）
- 4 議題 1 懇談会の進め方について
2 質疑応答
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第 1 回三者懇談会を開会いたします。はじめに資料の確認をさせていただきます。

（資料の確認）

吹田市： 三者懇談会に入る前に、当西山田保育園民営化移管先事業者決定の経過を御存知ない方もおられますので、これまでの経過を簡単に御説明いたします。

西山田保育園の移管先事業者を選定するために、昨年 10 月 20 日に選定委員会を設置しました。その後、3回の委員会を開催し、様々な議論や審査を経て、最終的に社会福祉法人耕心会を選定するとの答申が得られたため、この答申を受けて本年 3 月 19 日に市としての決定を行いました。

移管日は平成 32 年 4 月 1 日ですが、移管に向けて円滑な引継ぎを行うため、この三者懇談会が本日設置されました。今後、三者懇談会において、西山田保育園の保護者代表の皆様と、社会福祉法人耕心会、吹田市の三者で様々な調整事項について協議を行っていくことになり、本日は皆様に御出席いただいております。

2 出席者紹介

吹田市： 本日が初めての開催となりますので、三者懇談会の出席者の皆さまについて御

紹介させていただきます。

(出席者紹介)

吹田市： 出席者の皆様から一言御挨拶をいただきます。
まず、吹田市から御挨拶いたします。

吹田市： 西山田保育園保護者の皆様、社会福祉法人耕心会の皆様、本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。西山田保育園につきましては、平成32年度に民営化することとしております。昨年度開催した選定委員会において、社会福祉法人耕心会を移管先事業者を選定していただき、本年3月19日に市としての決定を行いました。

社会福祉法人耕心会は、吹田市内で認定こども園と小規模保育事業を運営されています。吹田市内の事業者が西山田保育園を引継いでいただくことは大変ありがたいことですし、感謝しております。

本日は初めての三者懇談会となります。保護者の皆様からの御質問にしっかりとお答えしながら、丁寧に引継ぎを進めたいと思っています。なお、本日は西山田保育園の職員もこの場に参加しております。保護者の皆様からの御意見や、耕心会の御意見を聞きながら、来年度の合同保育に役立てていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

耕心会： 本日は貴重なお時間の中、たくさんの方にお集まりいただき、本当にありがとうございます。初めての三者懇談会になりますので、私たち社会福祉法人耕心会についてお話をさせていただこうと思います。

耕心会は、南吹田地域で吹田くすのきこども園と、小規模保育事業の第1ニューリース、第2ニューリースを現在運営しております。吹田くすのきこども園は当初保育所として開園し、現在は0歳児から5歳児まで約90名のお子様をお預かりしています。また、2つのニューリースでは、3歳児未満のお子様を合わせて約30名お預かりしています。

耕心会は、保育士養成に関わる大学の教員や現役の保育士、保育士を目指す学生たちが集まって長年続けてきた研究会が母体となっています。この研究会で勉強を続けてきたメンバーが、現在の耕心会で中心的な職員となって働き続けてい

ます。

南吹田では、開園当初から自治会をはじめとする地域の皆様や、保護者の皆様から大きなお力添えをいただいて保育を続けてきました。現在の幼い子供たちを取り巻く環境は大きな変化を迎えておりますが、日々子供たちと向き合いながら、保護者の皆様が安心してお子様を預けることのできる保育の在り方等について、学んでおります。そして、地域の子育て家庭のお役に立てるように努力を続けているところです。

西山田保育園の保護者の皆様の中には、民営化に対する御心配な気持ちをお持ちの方も多くいらっしゃると思います。教育や保育、福祉といった分野は、公が担っていくべきであるという考え方には、私たちも賛同するところがあります。ただ、民間とはいえ、社会福祉法人も皆様の幸せを願いながら、実現していくための組織であるという点は、公と共通する部分があると考えています。

西山田保育園で長年大切にしてきた保育を引継ぎ、子供たちが健やかに成長していき、保護者の皆様が安心してお子様を預けることができるように努力していきたいと思っています。そのためにも、こういった三者懇談会の場で、保護者の皆様としっかり話し合いを重ねていきたいと思っています。

耕心会は来年度に藤白台保育園の移管を受ける予定であり、現在は合同保育を行いながら引継ぎを進めています。その様子について少しお話をさせていただきます。この4月から耕心会の職員が藤白台保育園に毎日出勤して、日々のクラスの様子や保育内容、行事等を引継いでいます。藤白台保育園は、地域の重要な子育て支援の拠点となっておりとお伺いしましたので、そういった部分もしっかりと引継ぐため、当初2名の予定でしたが、現在は3名の職員が毎日藤白台保育園に出勤しています。

三者懇談会では保護者の皆様から御質問をいただいたり、写真販売の方法について耕心会から新たな提案を行ったりしました。今後は給食についても提案させていただくことを考えており、保護者の皆様と話し合いながら、更に保育内容が充実するよう準備を進めているところです。

また、藤白台保育園の先生たちと頻りに2園会議を行って、保育の細かい部分の引継ぎも行っています。それだけではなく、藤白台保育園の先生たちに吹田くすのきこども園にお越しいただき、実際に行っている保育を見ていただきました。そういった交流を通じて、お互いの保育の共通点や違いを見出すことができ、引継ぎにも活かすことができていると感じています。

西山田保育園でも、藤白台保育園と同様に、保護者の皆様や園の先生たちと話し合いを重ねながら、しっかりと引き継いでいきたいと思っています。今後とも皆様のお力添えをいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

保護者： 本日はお忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。いよいよ民営化に向けてスタートしました。今日ここにおられる方は、様々な思いを抱えて本日を迎えたのではないかと思います。民営化が決まった後に入園された方もいれば、入園された後に民営化が決まった方もいらっしゃると思います。また、民営化に好意的な方もいれば、そうではない方もいらっしゃると思います。

私は7年前に長男が西山田保育園に入園し、2歳の時に民営化が決まりました。私としては、教育や保育は公が担うべきだと考えているのでとても複雑な心境ですが、子供たちのためにより良い民営化になってほしいと願う気持ちは、どの保護者の方も一緒だと思っています。

ただ、民営化に対してイメージが湧かなかったり、比較対象がなくて漠然とした不安を抱えていたり、どうなるのか分からないというのが多くの方が抱えている本音の部分だと思っています。そこで、耕心会がどのような法人なのか知るために質問項目を提出させていただきました。同じ質問項目は西山田保育園にも提出させていただいています。毎日の保育で忙しい中、とても心苦しかったのですが御協力いただきありがとうございました。

この資料を見ていただくことで、少しでも民営化のイメージが膨らんでより良い議論ができればいいと思っています。今後、様々なことが議題になると思いますが、話し合いを重ねていくうちにお互いの理解が深まり、不安が安心に変わるような三者懇談会の場になることを願っています。多くの保護者からの要求に応えていくことは、時には難しいこともあるかと思いますが、たくさん議論を重ね、納得した気持ちで民営化の日を迎えたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

吹田市に対して申し上げます。吹田の保育水準を下げないと言っている以上は、今の水準を維持できるように責任を持って取り組んでいただきたいです。公立と私立の間の賃金格差は大きいと思います。保育士不足が叫ばれている中、十分な保育をするための人材が集まるのか、集まった保育士に長く働いてもらえるのか心配です。民営化になって保育の質が下がるかもしれないというのが一番怖いと思っていますので、耕心会で働く保育士たちが長く安心して働けるように、責任

を持って、環境を整えていただきたいと思います。

3 懇談会の進め方について

吹田市： 今後の三者懇談会の進め方について協議していきたいと思います。今後、どのように西山田保育園を引継いでいくかについては、保護者の皆様から様々な御意見や御要望があると思いますが、内容によってはその場ですぐにお答えすることが難しい場合もございます。御意見や御要望については、保護者代表で取りまとめていただき、事前に書面の形で御提出をお願いしたいと思っています。そして、それに対する考え方を三者懇談会の場でお答えしていくという形で進めたいと考えています。また、耕心会から西山田保育園を引き継ぐにあたって、何か提案したい内容があれば、同様に三者懇談会の場で協議したいと考えております。

先行して三者懇談会を開催している南・吹田・藤白台・岸部保育園では、このような進め方をしており、同じように進めていきたいと考えています。この点について何か御意見はございますか。

保護者： 今日は質問をすることができないのでしょうか。

吹田市： 後ほど質疑応答の時間を設けていますので、その場で御質問をお受けします。他に御意見がなければ、当面はそのような形で開催することとします。

4 質疑応答

吹田市： 要望書等に対する回答を行う前に、本日の資料に関して御説明がございます。当初、保護者会の方から、移管後の西山田保育園の1日の流れをタイムスケジュールに沿って示してもらえないかという御要望がありました。しかし、1日の流れについては、西山田保育園の現状をそのまま引き継ぐため、現在の西山田保育園の1日の流れをそのままお示しするだけになってしまうことになり、御相談させていただきました。その中で、現在の西山田保育園と吹田くすのきこども園の1日の流れで大きく違う点があるため、その部分を気にされているということが分かりました。

2点ありまして、まず朝おやつの有無です。現在の西山田保育園では、0歳児から2歳児まで朝もおやつを提供していますが、吹田くすのきこども園では提供していません。次に、1歳半頃までの午睡方法です。西山田保育園は時間を決め

て2回睡眠を行っていますが、吹田くすのきこども園は、柔軟に対応されているようです。この点に関して耕心会から御説明を行います。

耕心会： 西山田保育園の引継ぎを進めるにあたり、西山田保育園の現状の保育内容を引継ぐことと、保護者の皆様に御負担をおかけしないことを第一に考えています。

午前のおやつは提供できる体制を整えますし、2回睡眠については、現在藤白台保育園で合同保育を行いながら引継ぎを行っているところです。そこでしっかりと学んでいきますので、西山田保育園でも同様に対応してまいります。

吹田市： では、保護者の皆様からいただいた要望書等について、耕心会と吹田市から回答をさせていただきます。

(耕心会から回答)

(吹田市から回答)

吹田市： 保護者の方からの御質問や御意見をお伺いしたいと思います。

保護者： 耕心会が市から移管を受けて、園を運営していく場合に責任の範囲はどのように考えたらよいのでしょうか。移管後に園児が怪我をしたり、園児が集まらなかった場合や、園の建物が地震で倒壊した場合に、市はどのように対応するのか教えてください。

私の経験上の話になりますが、9年前に上の子が大阪市東淀川区の私立保育所に通っていました。私の子の学年は入園希望者が多かったのですが、1つ下の学年の入園希望者が減少しました。噂話になりますが、保育所よりも幼稚園に通わせた方がいいのではないかと入園前のお母さんたちが話をしており、その影響で減少したのではないかということのようです。

今後は、必ずしも入園希望者が多く集まるような状況ではないということも念頭に置いて、対応しておく必要があると思っています。

吹田市： 平成32年4月1日付けで西山田保育園を耕心会に移管しますので、前日の3月31日までは吹田市が運営の責任を負いますが、移管後の運営は耕心会の責任に変わります。園児が怪我をした場合の責任の所在も同様です。

園児の募集については、現在は待機児童数が多く、吹田市全体の保育施設の申込状況を見ても、園児が集まらないということはあまり考えられません。もともと民営化の対象園は、移管後も民間事業者が運営を行いやすいところ、つまり子供の数が多く、今後の増加率が高いところを選んでいきます。

将来的に少子化が進んで子供の数が増減してくれば、まずは各園の受入人数を調整する必要があります。今は待機児童対策によって、私立園にも定員数以上の子供を受け入れてもらっていますが、本来の定員数に戻すこととなります。

そして、もっと子供の数が増減してきた時は、市の「子ども・子育て支援事業計画」策定時に検討していきます。この計画は5年ごとに見直しを行っており、保育所や幼稚園、認定こども園等に通う1号・2号・3号の子供たちに対して、施設の配置バランスも考慮しながら、どのように教育・保育を提供していくかについてお示ししています。

これから出生してくる子供の数を見積もるのは難しいですが、更なる少子化が進んでくれば、定員の調整を行ったり、現在の保育施設をどのように統廃合していくべきなのか等の話が出てくる可能性もあります。ただ、あくまで仮定の話なので、現時点ではっきりしたことを申し上げるのは難しいです。

園の建物については、移管時に無償で譲渡する予定ですので、地震に対する対応は耕心会にお願いすることとなります。ちなみに、園の敷地は吹田市が所有しているのではなく、大阪府住宅供給公社から契約を締結して借りています。移管後は、大阪府住宅供給公社と耕心会が賃貸借契約を締結する予定です。

保護者： 定員の調整は、吹田市が判断していくことなのでしょうか。

吹田市： 定員の調整を含めて保育施設の在り方については、吹田市と私立園を運営されている法人さんとで相談しながら進めています。現在は待機児童の問題もあるので、定員を減らしたいという提案を受けることは難しい状況ですが、将来的にはそういった提案を受けることがあるかもしれません。今後は、私立と公立とがどのように運営していくべきか、一緒に考えていく時代が来ると思います。

保護者： 他の市町村でも民営化は進んでいます。そういった中で、公立なら入所できる子供が、私立では入所できない事例があると聞いています。発達支援保育制度を利用している子供や、支援が必要な子供に対する保育は公立が担っている部分が

大きい現状がありますので、吹田でも同様の事例があると思っています。耕心会は、そういった公立の現状も引き継いでもらえるのかお聞きしたいです。

次に、公立に通っている要配慮児の対応に対しては、同じ吹田市なので保育幼稚園室からバックアップする体制があると思いますが、現在の吹田くすのきこども園に対しても、困った時に相談に乗ってバックアップする体制が整っているのか教えてください。

最後に看護師に関してです。公立は全園に配置していますが、私立では配置していない園もあります。私立で看護師を配置する場合に400万円程度の補助金が出ると聞いていますが、その金額で本当に看護師を雇用できるのか疑問です。保健だよりなどを見ていると、公立全園で流行している感染症の状況が載っていたりしますが、私立の状況は載っていません。西山田保育園に子供を預けて8年目になりますが、感染性胃腸炎の集団発生が数多く起きています。看護師がしっかりと対策を行って、重症に至る園児がいないのが救いです。耕心会が看護師を採用できなければ市が何らかの手助けをしてほしいですし、現在看護師を配置していない私立園に対してもしっかりと手助けをしているのか教えてください。

吹田市： 吹田市の現状を申し上げますと、待機児童対策として私立に多くの子供を受け入れてもらい、公立が発達支援保育制度を利用する子供を率先して受け入れています。その結果として、公立なら入所できるけれども、私立では入所できないというように言われているのかもしれませんが、ただ、民営化を引き受けてもらう事業者には、公立で設けている発達支援保育の枠を引継いでもらう約束になっています。

看護師に関しては、確かに1名の看護師を配置して体調不良児対応型の病児保育事業を行っていただければ、約430万円の補助金が出ますが、その金額内で看護師を雇用できるかどうかは分かりません。西山田保育園に関しては、看護師を配置していただく約束で移管を行いますので、まずは耕心会に看護師の雇用をお願いすることになります。

市として民営化する責任がありますので、少なくとも5年間は三者懇談会を開催しながら関わっていくつもりです。ただ、看護師を含めて職員が病気などで休んだりして、園にいないことは公立でもあります。そういった場合でも、しっかりとサポートできる体制を作っていただきながら、引継いでいきたいと考えています。

私立園に対する手助けについてです。私立園でも感染症が流行することはもちろんあります。そういった時には、吹田市保育幼稚園室に在籍している看護師が電話などで感染症予防の御相談を受けたりしています。また、アレルギーの対応についても、室の看護師が園に出向いてエピペンの取扱いなどの研修を行っています。

保健に関わるだけでなく、私立園からは様々な御相談をいただきますので、写真や参観、家庭訪問や防犯の取組等についてお伝えしていますし、防災マニュアルなどの吹田市が作成しているマニュアル類も見ていただいています。

耕心会： 公立保育所では発達支援保育の受入れ枠を設けていると聞いていますので、その枠についてはそのまま引き継ぐ予定です。

吹田くすのきこども園の看護師について申し上げますと、現在子育て中の方です。夜勤がある病棟勤務よりは、保育所での日勤を希望されていたので、勤務していただくことができました。西山田保育園の移管までは約1年9か月ありますので、現在勤務している看護師にも声をかけて頼んでいますし、様々な形で採用活動を行っています。看護師を配置できるように、法人としてしっかりと努力してまいります。

日々子供たちに接していると、今後配慮が必要になってくるのではないかと感じることは多々あります。すでに配慮が必要な子供たちへの対応はもちろんですが、そういった場合にも常日頃から吹田市に相談をしています。また、吹田市からも、年に2回ほど巡回相談に来ていただいています。園児たちの様子を見てもらい、保育の手立てなどについてアドバイスをいただいています。

感染症の対応について申し上げますと、吹田くすのきこども園でも感染症が流行する時期はあります。ただ、園には嘱託医がおりますので、しっかりと相談をしながら対応しております。また、耕心会には看護師が2名在籍しており、法人として人事配置の工夫を行うことも可能です。看護師が在籍する園同士が連携していくことで、保護者の方や子供たちの負担を減らしていきたいと考えています。

保護者： 西山田保育園の開園当初から民間事業者が運営していたのであれば、老朽化した建物を建替えるための費用を内部留保していると思います。ただ、耕心会は設立して間もない法人ですし、急に移管を受けても大規模修繕や固定資産の入替えをするための内部留保が全然ないと思います。建物は無償で譲渡するとお聞きし

ましたが、それ以外に必要となってくる資金の手当てについてどのように考えているのか教えてください。また、吹田市からの資金の手当てがない場合に、耕心会はどのように考えているのかもお聞きしたいです。

次に、西山田保育園を運営する予算についてです。吹田市がこれまで運営してきた予算と、耕心会が運営していく予算の差がどれくらいになるのか、またその差額について、耕心会はどのように資金の手当てをしていくのか気になっています。経費の削減や、保護者からの費用負担で賄ったり、お金を借りたりするなど様々な方法があると思いますが、これまで通りの保育内容を全て引継ぐということになると、何らかの手立てを考えないと経営していくのは難しいと思います。

平成29年度の耕心会の決算書を拝見したところ、業務委託費が約1,200万円計上されていました。月にすると100万円ほどです。給食を外部委託されているのであれば分かりますが、吹田くすのきこども園は自園調理とお聞きしていますので、何を業務委託されているのかを教えてください。

最後に保育士の確保についてです。現在働いているパート・アルバイトの先生に残ってもらいたいと考えているようですが、先に民営化した南保育園では、当初1人も継続雇用を希望される方がいなかったため、移管先事業者であるこぼと会が給与を上げる決断をされたとお聞きしています。パート・アルバイトの先生に対する耕心会の対応について、現在の状況や今後の予定をお聞きしたいです。

吹田市： 吹田市には小学校や中学校などの様々な公的施設がありますので、大規模改修工事は行いますが、建替えをするまでは70年から80年ほどかかると考えています。一方で私立の保育施設では、昭和時代の建物は少なく、多くは平成以降に建てられたものです。私立が建替えをする場合には、国や市などから補助金が出て、法人の負担は総費用の4分の1程度で済みますので、民営化を行って進みやすいことの一つは建替えだと思っています。

また、遊具や備品も無償でお渡しします。ただ、建物と同様に古いものが多いので、合同保育を行う1年間にしっかりと確認していただき、予算の範囲内で可能な限り修繕を行っていく予定です。この予算については、民営化対象園だけに計上しており、その他の公立保育所にはありません。

運営費に関しては、手元に細かい資料がありませんので、細かい金額をお伝えできませんが、120名定員の公立保育所では、年間2億円程度の運営費がかかっています。それに対して、私立保育所は基本となる金額があって、それに職員の

経験年数に応じた加算などを含めた運営費になっています。公立の運営費は全額市の負担となりますが、私立の運営費は国や府にも負担してもらっています。歳入の考え方が異なりますので比較をするのは難しいですが、市単独の補助金も出しておりますので、耕心会には移管後もしっかりと運営していただきたいと思っています。

南保育園でのパート・アルバイト職員の雇用経過について、補足で説明いたします。当初こばと会は、こばと会が運営する園と同じ働き方での提案を考えておられたので、雇用を希望される方があまりいませんでした。その後、話し合いを進めていき、南保育園と同じような働き方をあらためて提案していただきました。賃金だけではなく、土曜日の働き方なども考慮していただいたので、最終的には16名の方に残っていただくことができました。耕心会にはそういった経過もお伝えしながら、できるだけパート・アルバイト職員が継続して勤務できるような提案をしていただきたいと思っています。

耕心会： 業務委託費の件に関してお答えします。平成29年度に公表している決算は、平成28年度の内容になります。吹田くすのき子ども園で給食の自園調理を始めたのは平成29年度からであり、平成28年度の給食は外部委託をしておりましたので、業務委託費の多くは給食に関する費用です。

それから、職員の確保について御心配をいただいています。耕心会の役員は、保育士の養成に関わっている教員を多く含んでおり、他の法人よりは福祉・行政とのつながりが強いと思っています。役員の教え子たちも多くおり、新しい園を運営するのであれば、そこで働きたいと言ってくれる者もいます。経験者についてはそういった繋がりから確保できますし、新卒の学生さんの保育実習も積極的に受け入れています。様々な経験を持ち、幅広い年齢層の職員を集めようと努力しているところです。

参考までに、現在の藤白台保育園の状況についてお伝えいたします。パート・アルバイト職員の方に対して、まずアンケートをさせていただきました。アンケートの内容は、移管後も継続して働いていただけるのか、もしくは迷っておられるのかお尋ねする質問や、藤白台保育園で働く中でいいなと感じている部分などもお聞きしています。このアンケート結果をもとに面談を行い、現在の働き方などをお伺いしました。毎日1時間だけ勤務されている方もおられますし、1年間経過すると2週間のお休みを取るといったこともあり、雇用形態が随分違うなど

感じています。様々なことを考えながら、次回の提案に繋げていきたいと考えています。

保護者： 移管後の西山田保育園における定員数と、保育士のクラス担任をどのように配置される予定なのか教えてください。

耕心会： 現在の西山田保育園の定員 120 名をそのまま引き継ぎます。来年度、実際に受け入れる園児の数は、吹田市が調整して決めますので、はっきりした人数はまだ分かりません。ただ、受け入れることができる人数は決まっていますので、大きく変わることはないと思っています。クラス担任を含めた保育士の人数は子供の数に応じて配置していきますので、その人数も大きく変わることはないと思っています。

保護者： いただいた資料によりますと、吹田くすのきこども園の2歳児は定員 15 名に対して、10 名しか受け入れていないようです。現在は待機児童の数が多いので、多く子供を受け入れているとお聞きしましたが、これは何か事情があるのでしょうか。

耕心会： 書き間違いです。2歳児は定員 15 名に対し、15 名をお預かりしています。申し訳ありません。

保護者： 西山田保育園の建物は耐震診断を行っていますか。Is 値も教えてください。

吹田市： 耐震診断は行っており、問題ないとの結果を得ております。数値は今手元にありませんので、後日お示しします。

(※Is 値とは構造耐震指標のことであり、0.6 以上であれば、震度6強から7に達する程度の大規模な地震で倒壊・崩壊する危険性が低いとされています。西山田保育園の Is の最低値は 0.87 であることを確認しました。)

保護者： 耕心会は、現在藤白台保育園で合同保育を行っているとお聞きしています。私自身は上の子供を私立保育所に預けていました。そこですごく良いと感じた面がありますし、今のこの園で良いと感じていることもあります。現在と同じように

引継いでいくとのことですが、実際には公私立それぞれに良いところがあると思います。何か具体的に感じておられることがあれば教えてください。

耕心会： 吹田くすのきこども園では近くの公園を利用したり、様々に工夫しながら保育を行っていますので、藤白台保育園の恵まれた環境の中で、子供たちの保育を行うことができるのは素晴らしいことだと思っています。

一方で、公立は何かを行う際に予算的な制約があったり、様々な決議が必要になってきます。修理を行うのも、何か必要なものを購入するのも多少の時間がかかりますが、私立は迅速に対応できる点が異なっていると思います。

合同保育に参加している職員から聞いていますが、公立は事務所にしかパソコンを置いていないそうです。そこでしか使えないので、手書きの作業が多くなってきます。私立はICTの補助金がありますので、吹田くすのきこども園では、各クラスに1台ずつタブレットを置き、文書作成などの事務処理を効率的に行っています。また、リズム活動の有無や給食にも違いを感じています。公立の職員は、給食の際にご飯を持っていかなければいけないそうですが、吹田くすのきこども園ではそういったことはありません。色々と細かい部分で違いがあると感じています。

保護者： 上の子供を預けていた私立保育所では、先生たちが運動会の準備を一生懸命してくれたり、生活発表会では子供の衣装を作ってくれたりしましたので、先生たちにとっても感謝しています。これは私の考えですけれども、私立は行事一つひとつがとても華々しくて、保護者が喜ぶことに目を向けているのではないかということです。それに対して公立はとても地味です。地味ですが、年齢に応じた目標をしっかりと定めています。くま組さんになったら棒登りできるようになるとか、三輪車が乗れるようになるとか考えており、これまで子供のために積み重ねてきた歴史があるように感じています。

公立と私立では運営方法や保育の考え方が根本的に違うと感じていたので、子供の数が減った時に、英語やひらがな、体操などのサービスを取り入れざるを得なくなるのではないかと心配していました。しかし、先ほど市からの答えを聞く限りでは、自由に保育をできそうですので、そこまで心配しなくてもいいのかもしれない。

最後に保護者会のことについて教えてください。私たちは子育てのプロではな

いので、他の保護者とお話しながら様々なことを学んでいます。面倒だなと思いつながりながら参加されている方がいる一方で、参加することによって得られることもあると思っています。吹田くすのきこども園では、保護者からの要望によって保護者会を作っていないとお聞きしています。移管後の西山田保育園でのお考えについて教えてください。

耕心会： 移管後も、そのまま保護者会を継続してほしいと思っています。吹田くすのきこども園に保護者会はありませんが、常日頃から保護者の方とお子さんの話もしていますし、運動会などの行事では様々な形でお手伝いをしてもらっています。

現在合同保育を行っている藤白台保育園でも、夏祭りなどの行事に向けて、保護者会の実行委員会の方と一緒に参加しています。保育の活動を一緒に行うことで、保護者の方と繋がりができますし、達成感や共感を得ることもできます。これまで積み重ねてきた歴史もありますので、西山田保育園でも同様にさせていただきたいと思っています。

保護者： 私の知り合いで、保護者会が面倒なので私立園に入れたという方もいます。それを乗り越えるような何かがないと、きっと今後入園される保護者の方は、保護者会をやめてほしいと要望されると思います。先ほどの私立園の話ではありませんが、英語や体操、運動会の鼓笛隊のような保護者に対する目線ではなく、子供目線の保育を考えてほしいです。耕心会には西山田保育園の特徴を知っていただき、そういった仕組みを作してほしいと思います。

耕心会： 簡単に耕心会の保育の特徴をお話させていただきます。吹田くすのきこども園にはいわゆる目玉保育というものはありません。うちはこれをやっていますとお示しするような保育はあまり行っていません。では、普段何を大事にしているのかというと、子供たちが自分で自分たちの生活を作っていくということです。1歳は1歳なりの自立、3歳は3歳なりの自立があります。年齢に応じて子供たちが自分で生活していくことをとても大事にしています。

活動についても、去年はこうしたから今年も同じようにしようとか、毎年やっているから今年もしようというのではなく、毎年職員が最初から考えています。運動会のテーマを考える場合には、この子供たちは春からこういう遊びが好きで、こういう遊びを続けてきたから、その延長線上に運動会を持ってこようとか、

その年の子供たちや活動内容に合わせて、保育内容や行事内容を考えています。

また、日常の保育例で申し上げますと、運動会後の5歳児は小学校入学に向けてお昼寝をしなくなります。そうすると、他の子供たちが眠っている午睡の時間に、5歳児たちが園のランチルームや玄関といった共用スペースを掃除してくれたりします。僕たちはお兄ちゃんだから、小さい子の靴箱も綺麗にしてあげるよと言って綺麗にお掃除をしてくれます。それに対して職員たちは、ありがとうございますと綺麗になったねと積極的に声をかけようと話をしています。本当に何気ないことですが、そういった日々の積み重ねを大事にしたいと考えています。

西山田保育園の取組みを引き継ぐのが大前提ですが、耕心会が大事にしている取組みも併せて展開できればありがたいと思っています。

5 閉会

吹田市：他に御意見・御質問がないようでしたら、本日は終了時刻を過ぎておりますので、これで三者懇談会を終了いたします。

次回の開催日時につきましては、耕心会や保護者会長と調整させていただきます。本日は御参加いただき、ありがとうございました。